

令和6年12月7日（土）実施



### ① 福原地区

ふちな農園、たばちゃん農園の直売所を訪問。直売所では、農園の方に調理方法やどのように栽培しているのか等についてお話を伺いながら参加者が野菜や果物を購入した。

たばちゃん農園では実際に畑に入らせていただき、作物の説明や土づくりなどについて説明を受けながら見学した。また、金ごまの収穫方法について説明と実演をしていただき、一部の参加者が体験した。



### ② 大木農園

2023年世界農業遺産に認定された「落ち葉堆肥農法」を実践している大木農園の見学。「落ち葉堆肥農法」とは、雑木林の落ち葉を集め（くず掃き）、畑にすきこんで土壌改良を行う伝統的な農法である。

大木農園は、空から見ると雑木林、自宅、農地が典型的な造りになっており、今回は畑の裏にある広い雑木林を見学させていただいた。屋敷林は、竹かご（落ち葉を詰めるためのもの）や熊手に利用してきた立派な竹林である。雑木林は、現在カシノナガキクイムシの被害があり、コナラやクヌギが立ち枯れしているため、参加者は林縁から観察した。冬の間「くず掃き（落ち葉掃きのこと）」を行い、これが腐葉土となって、おいしい野菜が出来る循環型農業となる。



### ③ さんぼ舎

長岡式酵素玄米を使ったお弁当や玄米酵母パンを販売しているカフェにて昼食。こちらは「(仮)川越森林公園計画地」で唯一の食事処となっている。すぐそばの畑で取れた里芋や小梅を使ったお弁当は参加者から好評で、パンも人気で全て品切れとなった。参加者は主にテラス席でピクニックのような形式で昼食を取り、こどもたちは食後に近くの木に吊るされたブランコで遊んだりとのびのび過ごした。



### ④ 矢部農園

今回の最後は、250mあるニンジン畑、里芋畑が広がる矢部農園。掘りあげてある芋の塊をほぐして、親芋、子芋(小頭)、孫芋に分けていった。エコツアーの中でも「グリーンツーリズム」に近い農業体験で、参加していた子供たちは大きな塊を持ち上げて、楽しそうにほぐしていた。小学校3,4年生が多く、元気いっぱい一生懸命取り組み、想像していたより早く作業が終了。お天気にも恵まれ、この時期の風もなく絶好の農業日和であった。作業をしながら、地中から出てきた虫を観察したり、虫を求めて野鳥が寄ってきているのを観察したりと自然と触れ合う機会となった。